

授業科目	在宅医療概論			担当教員	榊原 隆三・他		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択必修
授業の到達目標及びテーマ							
<p>在宅医療は、従来の外来通院医療と入院医療に次ぐ第 3 の医療で、患者が在宅ケアを受けるためには、病院・診療所・訪問看護ステーション・薬局・福祉関係施設などのさまざまな医療・保健・福祉提供施設の機能を活かした地域におけるチーム医療体制（地域医療連携）の整備が不可欠である。在宅医療の現場でチーム医療を実践するには、それら施設の構成員である医師・薬剤師・看護師・福祉士・栄養士の専門性とそれぞれの職能についての相互理解や連携が必要であり、患者が必要としているさまざまなケアに対応できるような臨床能力に関する総合実践力を修得する必要がある。</p> <p>本学の各学科を修了する多くの学生は、将来、薬剤師、管理栄養士、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士など在宅医療に深いかかわりを持つ専門職を志向している。本授業の狙いは、学生諸君に、在宅医療に必要な基礎知識を身に付けてもらうこと、また、それぞれの専門職種役割とその連携の重要性を知ってもらい「在宅医療」および「地域医療連携」に対する芽生えを期待するものである。</p>							
授 業 の 概 要							
講義を主体とし、配布プリント、パワーポイント等を必要に応じて使用する。							
評価の方法・試験の実施要領							
講義ごとに課すレポート、出席及び受講態度を総合して評価する。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：特に指定しない。 参考書：明日の在宅医療 1～7 巻（中央法規）</p>							
準備学習及び学生に期待すること							
講義がオムニバス形式であるので全回出席し、積極的な質問などを期待する。全体に関する質問などがあれば、取りまとめ担当教員のオフィス（薬学研究棟 P203：榊原）を随時尋ねてください。							
No.	テ ー マ			授 業 の 内 容			
1	総論			在宅医療に関する多くの専門職と専門職連携の重要性（手嶋無限、榊原隆三）			
2	在宅医療に関する専門職（1）			在宅医療における薬剤師の役割（中野正治）			
3	在宅医療に関する専門職（2）			在宅医療における介護福祉士・社会福祉士の役割（山崎久子）			
4	在宅医療に関する専門職（3）			在宅医療における管理栄養士の役割（牧山嘉見）			
5	在宅医療に関する専門職（4）			在宅医療における医師の役割（矢野捷介）			
6	在宅医療に関する専門職（5）			在宅医療における看護師の役割（新川哲子）			
7	在宅医療を考える（1）			在宅医療におけるヘルスカウンセリング（古賀義）			
8	在宅医療を考える（2）			在宅医療における心理学（黒山竜太）			
9	在宅医療を考える（3）			在宅医療における栄養と栄養管理（牧山嘉見）			
10	在宅医療を考える（4）			在宅医療における食品機能学（食と薬を含む）（出口雄也）			
11	在宅医療を考える（5）			在宅医療におけるケアマネジメントとソーシャルワーク（山本主税）			
12	在宅医療を考える（6）			在宅医療における調剤と薬の知識（仮屋蘭博子）			
13	在宅医療を考える（7）			在宅療養における健康サポート（熊谷賢哉）			
14	在宅医療を考える（8）			在宅療養における楽しみのサポート（青山有三）			
15	在宅医療を考える（9）			在宅医療における行政のサポート（内田亨子）			